



古賀市記者懇談会（12月）

令和2年12月18日（金）13時30分～
古賀市役所 応接室 A

朝日新聞社、共同通信社、産経新聞社、時事通信社、西日本新聞社、日本経済新聞社、毎日新聞社、読売新聞社
FBS、J:COM、KBC、NHK、RKB、TNC、TVQ(50音順)

①古賀市飲酒運転撲滅都市宣言を行います【P1】

【古賀市役所】（問い合わせは総務課 鳥飼=092-942-1112）

毎月9日は粕屋警察署飲酒運転撲滅の日です。

古賀市では、市民の皆さんと飲酒運転撲滅について考えるイベント「飲酒運転撲滅啓発キャンペーン」を1月9日に粕屋警察署と共催で開催します。

また、飲酒運転撲滅に向けた意思表示として、今回初めてとなる「古賀市飲酒運転撲滅都市宣言」を行います。

②古賀市初の試み

プランニングツェレによる住民参加で、水道の未来を考える【P2～3】

【古賀市役所】（問い合わせは上下水道課 内=092-942-1129）

市では、令和3年2月に市民討議会「古賀市の水道の未来を考える会」を開催します。討議会への参加者募集については、ドイツで生まれ、まちづくり計画などを策定する際の手法であるプランニングツェレを用い、古賀市初の試みです。公募や専門家を招いたりする方式でなく、水道に興味をお持ちでない市民も含めて、いっしょに古賀市の水道の未来を考える機会にします。

③玉虫装飾馬具の公開展示でにぎわう古賀市立歴史資料館で

船原古墳オリジナル缶バッジを販売・「教えて！ふなこさん」を開催【P4】

【古賀市教育委員会】（問い合わせは文化課 大江=092-940-2683）

歴史資料館では、玉虫装飾馬具の公開展示と併せて、船原古墳オリジナル缶バッジ（全16種類・2個で100円）の販売を始めました。船原古墳の出土品や馬のイラストを模した缶バッジは記念品やお土産品として来館者にも大好評！週末開催の学芸員解説「教えて！ふなこさん」も大盛況で、展示開始からの来館者数は2786（ふなばる）目前です。

●今後の記者懇談会の日程（予定）

- ・1月21日（木）13時30分～
場所：古賀市役所応接室 A
- ・2月24日（水）13時30分～
場所：古賀市役所中会議室

■問い合わせ先

古賀市役所経営戦略課 波多江、吉田=092-942-1346 ✉pr-koho@city.koga.fukuoka.jp

古賀市飲酒運転撲滅都市宣言を行います！

毎月9日は粕屋警察署飲酒運転撲滅の日です。

古賀市では、市民の皆さんと飲酒運転撲滅について考えるイベント「飲酒運転撲滅啓発キャンペーン」を1月9日に粕屋警察署と共催で開催します。

また、飲酒運転撲滅に向けた意思表示として、今回初めてとなる「古賀市飲酒運転撲滅都市宣言」を行います。

■日時・場所など

日 時：令和3年1月9日（土） 14時～15時

場 所：サンリブ古賀店1階催事場

事業名：粕屋警察署飲酒運転撲滅の日啓発キャンペーン

■キャッチフレーズなど

「飲酒運転は、絶対しない！させない！許さない！そして見逃さない！」

古賀市一丸となって、飲酒運転のない社会を目指しましょう！

■趣旨

平成23年に粕屋町で高校生2名が犠牲となった飲酒事故から10年の節目を迎えるにあたり、飲酒運転撲滅キャンペーンを開催し、広く住民に飲酒運転撲滅を呼びかけ機運のさらなる高揚を図ることにより、飲酒運転撲滅を推進するもの

■実施内容

- ・粕屋警察署飲酒運転撲滅の日啓発式典（古賀市飲酒運転撲滅都市宣言の実施）
- ・VRによる飲酒運転体験
- ・白バイ・パトカーの展示
- ・ミニ生命のメッセージ展
- ・啓発物資の配布

■主催：古賀市、粕屋警察署

【問い合わせ先】

古賀市役所 総務課危機管理係

担当：鳥飼 電話：092-942-1112

古賀市初の試み プラークスツェレによる住民参加で 水道の未来を考える

古賀市では、令和3年2月に市民討議会「古賀市の水道の未来を考える会」を開催します。討議会への参加者募集については、ドイツで生まれ、まちづくり計画などを策定する際の手法であるプラークスツェレを用いています。令和2年11月に無作為抽出により18歳以上の市民500人に案内状を送付し、43人から参加申込がありました。市民討議会はコロナ対策を考慮して3日間に分けて開催します。公募や専門家を招いたりする方式でなく、水道に興味をお持ちでない市民も含めて、いっしょに古賀市の水道の未来を考える機会にします。

■プラークスツェレとは

- ・ドイツのペーター教授が1970年代に生み出した住民参加型の手法で、サイレントマジョリティを拾うことを目的としています。無作為抽出で選ばれた市民が、有償により限られた時間の中、グループ同士で行政の課題の解決に取り組むことと定義されています。

■プラークスツェレを採用した理由

- ・無作為抽出であるため水道に興味がない人の参加が期待でき、幅広い意見を集約できるため
- ・有償であるため、参加者に責任を持って取り組まなければならないという意識が芽生えるため

■案内状の内容

- ・プラークスツェレによる市民討議会は古賀市では初めての試みであり、テーマは「古賀市の水道の未来について」として、2時間の討議で5,000円の謝礼を支払います。

■市民討議会の日開催日時と場所

- ・第1回 令和3年2月6日（土）14時～16時
- 第2回 令和3年2月12日（金）19時～21時
- 第3回 令和3年2月13日（土）14時～16時
- ・場所はいずれもリーパスプラザこが交流館302洋室

■参加者決定までの流れ


- 令和2年11月20日 無作為抽出した18歳以上の500名に案内状を送付
- 令和2年12月15日 参加申込締切
- 令和3年1月 各回17名程度を抽選で選び、結果を通知

■市民討議会の内容

- ・職員がファシリテーターを務めます。
- ・アイスブレイクとして、「利き水」を実施し、その後水道料金、浄水場の存廃問題などについて尋ねます。
- ・蛇口を捻れば水が出ると、当たり前のよう利用してきた水道ですが、大規模災害時や今年のコロナ禍の手洗いなどを通して改めてその持続性について意識が高まる中で、今後本格化する人口減少社会において、施設の老朽化、水道料金の今後及び浄水場の存廃などについて、行政からの一方的な周知でなく、市民の方々といっしょに考えながら合意形成を図ります

■応募結果とその動機

- ・43人/500人
- ・応募理由(複数回答可)
 - ①水道料金に興味があったため 23人
 - ②一度市民討議会に参加してみたかったため 18人
 - ③5,000円の報酬が魅力的だったため 16人

 **未来へ～安全で安心な水を届けるために**
 ● 問い合わせ 上下水道課 ☎942-1129

水は人が生きていくうえで必要不可欠なもので、コロナ禍における手洗いや、災害時の避難所生活でも重要な役割を果たしています。その水を提供している水道事業は、数十年単位の長い視点で水道施設の新設や更新などを行っていかねばなりません。



本市の浄水場は昭和49年に建設され、すでに**46年が経過**。まもなく更新の時期を迎えますが、今後の人口減少や節水意識の向上から、水道料金収入は減少する見込みです。また、昭和53年の福岡大渇水を教訓に、本市は筑後川からの受水を増やすなどの対応しており、現在浄水場で作っている水は全体の4分の1程度で、施設の処理能力の40%弱しか使用していません。

これらに対応していくためには、水道施設を適正に維持管理しながら、皆さんの負担が大きくなりないう、最も効率的で効果的な運営が必要です。

本市では、今年3月に策定した「古賀市水道事業アセットマネジメント」で、浄水場の今後のあり方について現状維持、規模縮小、廃止(全量受水)の3つの観点から今後40年間の費用の比較検討を行いました。

結果は下図の通りで、「廃止」が最も費用がかかりませんでした。「規模縮小」と比較すると約53億円、「現状維持」と比較すると約103億円の費用削減が見込まれます。しかし、浄水場の廃止では、水道料金が抑えられる一方で、災害時などに不安を抱える人もいるかもしれません。

	現状維持	規模縮小	廃止 (全量受水)
工事費	236	193	131
維持費	199	192	201
総費用	435	385	332
評価			
コスト面	×	○	◎
災害対応	○	○	△

(単位：億円)

令和3年2月に開催予定の水道事業の「市民討議会(プラーマンクスツェレ)」で、これからの水道の未来を市民の皆さんと一緒に考えたいと思っています。11月中旬に、無作為抽出された500人に案内状を送付しています。会議への参加にご協力をお願いします。

▲広報こが12月号より抜粋

【問い合わせ先】

古賀市役所 上下水道課 総務・上水道管理係
 担当：内、星野 電話：092-942-1129

玉虫装飾馬具の公開展示でにぎわう古賀市立歴史資料館で 船原古墳オリジナル缶バッジを販売・「教えて！ふなこさん」を開催

国宝級と考えられる玉虫装飾の馬具が見つかった古賀市の船原古墳。歴史資料館では、玉虫装飾馬具の公開展示と併せて、船原古墳オリジナル缶バッジ（全16種類・2個で100円）の販売を始めました。船原古墳の出土品や馬のイラストを模した缶バッジは記念品やお土産品として来館者にも大好評！週末開催の学芸員解説「教えて！ふなこさん」も大盛況で、展示開始からの来館者数は2786（ふなばる）目前です。

・「令和2年度国史跡船原古墳展『馬王～それは誰だったのか』」

開催日時：11月14日～12月20日（日）

開館時間：10：00～18：00 ※休館日は月曜日（祝日の場合は翌平日）

場 所：古賀市立歴史資料館

・「学芸員解説『教えて！ふなこさん』」

開催日時：12月19日・20日 ①11:00 ②14:00 ③16:00

場 所：古賀市立歴史資料館

■目的など

船原古墳の出土品である玉虫装飾馬具の発見について、令和2年11月に報道発表を行った反響もあり、同月から開始した「令和2年度国史跡船原古墳展『馬王～それは誰だったのか』」には多くの来館者で、注目を集めています。この度、歴史資料館では、船原古墳展に訪れた来館者にとって記念やお土産になるようなグッズとして、また、船原古墳を広く知ってもらうために12月2日から「船原古墳オリジナル缶バッジ」の販売を開始しました。玉虫装飾の馬具をはじめとした船原古墳の出土品や馬のイラストを模した缶バッジは職員の手作りで全16種類、2個100円で販売し、多くの方にご好評いただいています。売上げ12月17日13時時点235セット（470個）で船原古墳展開催終了後も販売を続けていきます。

さらに、週末(土・日)に開催している学芸員解説「教えて！ふなこさん」も、出土品の調査に携わっている職員から直接話を聞くことができ、わかりやすい説明が受けられると大盛況です。船原古墳展では「ふなばる」にちなんで2,786人の来館者突破を目指しており、2,786人目には記念品をお渡しします。12月17日13時時点の来館者は2,675人です。

※別紙「船原古墳オリジナル缶バッジ」と「教えて！ふなこさん」の写真参照

【問い合わせ先】

古賀市役所 文化課文化財係 担当：大江

電話：092-940-2683



船原古墳オリジナル缶バッジ全16種類



文化課職員による缶バッジ製作風景



学芸員解説「教えて！ふなこさん」の様子（12月12日）



担当職員がわかりやすく説明します！